

福祉サービス第三者評価結果（総括表）

① 第三者評価機関名

特定非営利活動法人	ヒューマン・ネットワーク
評価調査者研修終了番号 第14-12 第15-1-1 第16-1-1号	

② 施設・事業所情報

名称 チューリップ保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：理事長 佐藤彰 園長 佐藤孝子	定員（利用人数）： 90名	
事業所在地 那珂郡東海村船場784-4		
TEL：029-282-3158	ホームページ：	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 1975年 5月1日		
経営法人・設置法人（法人名等）：社会福祉法人 こぼと会		
職員数	常勤職員： 14名	非常勤職員： 15名
専門職員	保育士 18名	栄養士 2名
	看護師又は准看護師 2名	調理師（員） 3名
施設・設備概要	保育室7 乳児室2 ほふく室2	ランチルーム2（1は保育室兼）
	遊戯室1 事務室1 調乳室1	子育て支援室 保健室 休憩室
	調理室2 食品倉庫1 沐浴室2	アレルギー食児童対応室 病児対応室

③ 理念・基本方針

理念：子ども達の笑顔と優しさあふれる保育園に「どの子どもにも全面発達を」

基本方針：①先人の歴史に学び、科学の視点を持ちながら保育実践を行う。②共同保育園の立場を維持しつつ時代に即した保育園 ③人が生きる上で最も重要とされる基本的な生活リズムを確立する。自然環境を大切にしたい保育 ④地域の中で信頼される保育園 ⑤家庭と園とが子どもを中心に保育を共有し頼られる保育園

④ 施設・事業所の特徴的な取組

「眠る・食べる・遊ぶ」の3つの視点、早寝、早起き、朝ご飯を重視し人としての基礎をしっかりと育てる保育、毎日の食事を通して食育も重視しています。水や土は子どもにとってはなくてはならない自然の素材、樹木の生い茂る下で仲間と心ゆくまで楽しむ事で心を安定させ想像力を広げます。0才児から一人ひとりに丁寧に向かい合うよう努め自己肯定感を育む保育を目指しています。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成30年 4月11日（契約日）～ 平成31年 1月28日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	0回

⑥総評

◆特に評価の高い点

○自然豊かな環境で仲間と心ゆくまで遊び育ち合う子どもの姿がある

檜を使用した園舎や樹木の茂った広い庭は子ども達の発達を考えて造られている。木漏れ日と風が通り抜け季節の折々を楽しませている。起伏のある土山は大小幾つもあり、切り株や丸太が用意され種々の遊びが展開されている。土や水、泥遊び、土山登り、落ち葉でままごと、追いかっこや丸太渡り、年齢ごとに、混合で夢中で遊ぶ笑顔あふれる子ども達がいる。自然を友達に身体を作り、創造力や想像力、感性を高め、人とのつながり方を育てている。

○食育で食の大切さと感謝の気持ちを知り、美味しさをみんなと一緒に味わっている

現在 2 歳児以上は毎日交代で食材となる野菜や果物洗いの活動で食材に親しんでいる。食育体験では季節の野菜を育てる中で自然への興味・関心を広げ、食べ物や作ってくれる方達への感謝の気持ちも育てている。またクッキングや制作遊びに取組み楽しんでいる。月 1 回お弁当の日を設け家庭の味を楽しむ機会もある。給食はだしの厳選、旬の野菜や魚、果物の素材を活かした和風献立で子どもの身体にやさしい給食とおやつを手作りで提供しみんなと一緒に味わっている。園の特徴でもある生活リズムを整え、食べる楽しみは生活や遊びの源となる総合的な食育を日々展開している。保護者アンケートでも安心安全と高い評価となっている。

○子ども一人ひとりを尊重し、0才からの全面発達を意識した丁寧な関わりが自己肯定感を育み、たくましく生きる力の基礎を培っている

0才児から五感の発達を促し6才までに「眠る、食べる、遊ぶ」を充実させ人としての基礎を作り生活のリズムを確立するという目標で実践を行っている。登園すると全身を使った遊びを充分にして午前寝、昼食、午後は散歩や戸外遊び、絵本の読み聞かせ等楽しんでいる。毎日子どもが主体的に生き生きと過ごしている。その姿を信頼し、見守り、支援する職員の優しいまなざしがある。一人ひとりへの尊重は自己肯定感を育み、たくましく生きる力の基礎を培っている。

○全面発達を促す遊びや活動の選択は科学的な視点で選び抜かれたテーマが継承され保育園の文化となって受け継がれている

保育計画に具体化されたリズム運動、体育遊び、行事、手遊び、昔遊び、集団遊び、手先を使った活動、読み聞かせ、自然遊び等がある。縄とびや側転、竹登り、竹馬、泥団子作り等々。5才児の挑戦する姿に憧れ、小さい子ども達は年齢に達すると次々に挑戦するようになり、代々遊びが引きつなげられている。遊びは職員の討議により、そのつど見直し検討され選択された物が引き継がれている。

○職員の保育力向上と働きやすい職場環境づくりを心がけている

毎年研修計画を立て、内部・外部研修に多くの職員を公平に参加させ、また、より高い技術習得の為に全国での研修にも参加し保育士・職員のスキルアップを絶えず考えている。必要に応じて園長との面談を持つ事で悩み・要望・希望を聞き理解を深め、有休休暇や家庭の事情に配慮し、職員の働きやすい環境と保育力向上をめざした保育所を心がけている。

◆改善を求められる点

○保護者の疑問や質問は明確化して、保護者全体に分かりやすくフィードバックし園理解に繋げることを期待する

保護者の疑問や質問については担任や主任、園長、行事担当者が早期に対応し口頭で説明回答しているが不安な保護者もいる。園の理念や方針、子どもの成長過程における園の取組みを説明し、理解納得を得て信頼関係を築いていくために、保護者の声を大切に考え、どんな細かい質問や疑問・意見でも明確にして保護者全体にフィードバックする組織体制の整備が望まれる。

○情報提供の工夫・改善が望まれる

園だよりやクラスだよりの発行、保育参加型の保育参観、個人面談などを通して園の方針や子どもの様子を伝えるよう努力している。日々の保育についても、ホワイトボードや保護者向けの日誌などを活用して活動の様子を伝えるようにしているが、十分とは言えずせっかくある連絡帳が活かしきれていない。連絡帳に関しては園としても検討中ということであるが、保護者との相互理解を深めるものとして早期工夫を期待する。

○利用者の便利性に配慮した入園のしおりを作成することを期待する

園の情報はホームページ他、保育園紹介パンフレット、乳児向けパンフレット「はじめのいっぽ」、チューリップ保育園へようこそ等それぞれ使用し説明案内しているが、利用者の便利性と分かりやすさを考慮し重要事項説明入り、入園のしおりを整備し活用していく事を期待する。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価は、過去に受けた経緯がなくハードルの高さを感じていました。

実際、専門的、客観的な立場から評価を頂き終了してみれば、これまで気づかなかった点や課題がはっきりとして、保育内容を高める良い機会となりました。

また、園として高い評価を受けた点は一層充実できるよう努力を重ねたいと思います。

何より調査の方々が園への深い理解を示しながら熱意ある調査を実施してくださり、安心して調査を受けることが出来ました。

「第三者評価は怖くない」保育の質を高める手段です。

⑧評価細目の第三者評価結果（別紙）

